

INFOPRO 2007

第4回情報プロフェッショナル シンポジウム

— 進化するインフォプロ@その可能性を探る —

会期 2007年10月31日(水)～ 11月1日(木)

会場 日本科学未来館 7階
(東京都江東区青海2-41)

<http://www.miraikan.jst.go.jp/>

主催 独立行政法人 科学技術振興機構

Japan Science and Technology Agency (JST)

社 団 法 人 情 報 科 学 技 術 協 会

Information Science and Technology Association (INFOSTA)

後 援 専門図書館協議会

特定非営利活動法人 日本医学図書館協会

財団法人 日本情報処理開発協会

社団法人 日本図書館協会

INFOPRO 2007 タイムテーブル

2007年10月31日(水)

	A会場 みらいCANホール	B会場 会議室2	C会場 会議室1
13:30~14:55	セッションA1 特許情報1	セッションB1 電子ジャーナル1	セッションC1 情報処理技術
13:30~13:55	A11 R&D動向分析ツールとしての特許ポートフォリオ分析	B11 日本化学会電子ジャーナルの統計解析	C11 EKOSS — 学術知識のオントロジーに基づくセマンティック・サーチ
14:00~14:25	A12 新規引用分析方法の提案	B12 J-STAGE投稿審査システムの利用状況	C12 2次元バーコードを用いたコンテンツ暗号化配信システム
14:30~14:55	A13 特許情報の分析・評価支援	B13 文献検索から原本供給までのシステム化	C13 MathMLを対象とした数式検索エンジンの設計
14:55~15:30	休 憩		
15:30~15:45	換 拶		
15:45~17:15	特別講演 イノベーション基盤としてのユビキタス		

17:30~19:30	情報交流会(於:レストラン)
-------------	----------------

2007年11月1日(木)

	A会場 みらいCANホール	B会場 会議室2	C会場 会議室1
10:00~12:30	トーク&トーク 明日のインフォプロをめざして		
13:30~14:55	セッションA2 電子ジャーナル2	セッションB2 データベース	セッションC2 物質・材料情報
13:30~13:55	A21 国産電子ジャーナルの著作権とライセンス	B21 JST文献データベースを活用した解析可視化手法の適用	C21 インターネット版材料特性ファクトデータベース構築とその背景
14:00~14:25	A22 J-STAGEにおける雑誌編集に関する推奨基準	B22 原子力関連会議口頭発表情報索引データベース(NSIJ-OP)の現状と課題	C22 化学物質リンクセンタープロトタイプ版
14:30~14:55	A23 2ステップマップによる原子力分野のジャーナルの分析	B23 データベースによる大学発特許の分析	
14:55~15:10	休 憩		
15:10~16:35	セッションA3 特許情報2	セッションB3 医学・薬学情報	セッションC3 情報検索・情報サービス
15:10~15:35	A31 大量特許分類分析結果の可視化	B31 『医学用語シソーラス』の構築と索引作業システムにおける運用の実際	C31 英文用例検索システム ESCORT
15:40~15:05	A32 構造情報を利用した特許解析	B32 ICD10における合併症のコード化への考察	C32 ポータルデザインとサービス認知に関する一考察
15:10~15:35	A33 特許業務の効率化における STN Viewer の有効性	B33 薬学生のための情報検索教育	C33 情報大航海プロジェクトと「すこやかライフサポート」サービス

第1日目 10月31日(水)

A会場 **みらいCANホール**

○は会場発表者、敬称略

13:30~14:55 セッションA1 特許情報1
座長 徳野 肇 ((株)三菱化学テクノロジー)

演題A11 R&D動向分析ツールとしての特許ポートフォリオ分析
- コンタクトレンズ分野の事例研究(特許強度と特許品質) -
INFOSTA-SIG-パテントドキュメンテーション部会
(株)帝人知的財産センター ○桐山 勉
日科情報(株) 長谷川正好、田中 宣郎
はやぶさ国際特許事務所 川島 順
大阪工業大学大学院 都築 泉
(財)日本特許情報機構 玉置 研一
田中貴金属工業(株) 藤嶋 進
パトリス(株) 濱崎 聡子

演題A12 新規引用分析方法の提案
- 審査官引用に基づく関連特許群構造抽出 -
富士ゼロックス(株) ○岡本 洋、坪下 幸寛

演題A13 特許情報の分析・評価支援
- 「termmi」と統計解析言語Rによる特許情報の可視化 -
花王(株) 安藤 俊幸

14:55~15:30 休憩

15:30~15:45 挨拶 独立行政法人 科学技術振興機構 理事長
社団法人 情報科学技術協会 会長

15:45~17:15 **特別講演** **イノベーション基盤としてのユビキタス**
講師 坂村 健 東京大学大学院情報学環教授

17:30~19:30 情報交流会 会場: レストラン

B会場 会議室2

○は会場発表者、敬称略

13:30~14:55 セッションB1 電子ジャーナル1
 座長 殿崎 正明 (日本医科大学中央図書館)

演題B11 日本化学会電子ジャーナルの統計解析
 - 被引用回数に反映される論文の質 -
 (社)日本化学会 ○林 和弘、太田 暉人
 東京大学 小川桂一郎

演題B12 J-STAGE投稿審査システムの利用状況
 - 利用ジャーナルの分析 -
 独立行政法人科学技術振興機構 ○川井千香子、和田 光俊
 愛知大学 時実 象一
 (株)アトラス 畔柳 佳典

演題B13 文献検索から原本供給までのシステム化
 - 医中誌Webを利用した文献オーダーシステムの開発 -
 大正製薬(株) ○高橋 俊哉、北島由紀子
 特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会 黒沢 俊典

C会場 会議室1

○は会場発表者、敬称略

13:30~14:55 セッションC1 情報処理技術
 座長 手塚 久男 ((株)東芝)

演題C11 EKOSS - 学術知識のオントロジーに基づくセマンティック・サーチ
 - 知識生成者を中心とした学術知識の共有・探索・統合システム -
 東京大学総括プロジェクト機構 ○スティーヴン・クレイネス
 三洋メトロジクス(株) 郭 維森、ブライアン・ケンパー
 中村 豊

演題C12 2次元バーコードを用いたコンテンツ暗号化配信システム
 - ユビキタス公開鍵インフラ cipherson.netの応用を中心に -
 (株)カオスウェア ○梅野 健、行田 悦資
 寺井 秀明、高 明慧

演題C13 MathMLを対象とした数式検索エンジンの設計
 大阪大学大学院基礎工学研究科 ○橋本 英樹、土方 嘉徳
 西田 正吾

特別講演 「イノベーション基盤としてのユビキタス」

10月31日(水) 15:45~17:15

講師 坂村 健(さかむら・けん)

東京大学大学院情報学環教授



1951年東京生まれ。

東京大学大学院情報学環教授／工学博士。

専攻はコンピュータ・アーキテクチャ(電脳建築学)。

1984年からオープンなコンピュータアーキテクチャ TRON を構築。ユビキタス環境のための組込 OS として世界中で多数使われている。さらに、コンピュータを使った電気製品、家具、住宅、ビル、都市、ミュージアムなど広範なデザイン展開を行っている。

2002年1月より YRP ユビキタス・ネットワークング研究所長を兼任。IEEE(米国電気電子学会)フェロー。

2003年紫綬褒章。2004年大川賞。2006年日本学士院賞。

『ユビキタスとは何か』、『変われる国、日本へ』、『ユビキタスでつくる情報社会基盤』、『グローバルスタンダードと国家戦略』など著書多数。

・講演概要

身のまわりのあらゆるモノや場所に小さなコンピュータチップを組み込み、それらがネットワークで相互接続されることで、「現実」と「情報」がつながる。そのモノが何で、誰がいつ作って、あるいは自分は今どこにいて.....などをコンピュータ群が自動的に認識し、人間に対してその時その場に最適のサービスを行えるようになる。私が早くから提唱してきたこのユビキタスコンピューティング(どこでもコンピュータ)技術は様々な応用に対してのインフラストラクチャ(基盤)となることが広く認識され、その応用範囲が様々な分野に広がっている。これからの社会のイノベーション基盤を担う技術であるユビキタス技術の根幹に流れる発想と、どのような構想でイノベーションを実現していくのかをお話する。

トーク&トーク 「明日のインフォプロをめざして」

11月1日(木)10:00~12:30

皆さんは、利用者サービス、組織内での貢献、後継者育成、新しい技術の利用など、様々な問題を抱えて押し潰されそうになっていませんか。

このような中で情報担当者は、経営戦略、知財権の獲得、最先端研究開発活動等を支援するべく、資料の入手、資料整理、蔵書の管理、文献複写、レファレンスなどに、日々忙殺されているのではないのでしょうか。さらに、Web社会になって情報担当者にとっても情報の利用者にとっても情報環境が大きく変わってしまい、膨大な情報やIT技術の変化の早さに追いつまらされているのではないのでしょうか。

昨今の激しい変化の中で、資料の入手ひとつを見ても、

<電子ジャーナルのここ数年の値上げ><コアジャーナルのしぼり込み>

<会議録などの配架書籍の見直し><外部DBの活用>

<内部システムとの連携対応> など、課題が山積しています。

資料室からの情報提供にしても

<ホームページの管理・維持><Web 2.0を活用したらどうなるの>

などに、日々頭を悩ませているのではないのでしょうか。

また、<どのようにして組織のミッションに貢献できるのか>

<自分たちの仕事の価値をどう上層部に知らせるのか>

<自分たちの専門性を、どう部下や若手に伝えてゆくのか>

などの、経営課題にも取り組まなくてはなりません。

さらに、<インフォプロ(情報担当者)の社会的認知度の向上と団結>

も、この世界の将来展望を開く上で大事なことです。

今回4名の話者提供から、現場で抱えている幅広い課題を提供していただき、課題解決へ向けてのチャレンジや、明日のインフォプロへ元気がでる提言をしていただき、話者提供者とフロアとのフリートークの場にしたいと考えています。

ぜひ、日ごろ抱えている問題を皆で共有して、解決のヒントをみつけ、すばらしい明日のための糧にしませんか。多数の方のご参加をお待ちしております。

話者提供者

「毎日が意思決定、解決の鍵はコミュニケーション?!」

専門図書館を知り尽くした企業図書館界のインフォプロ

柳 一美氏((株)日立製作所 システム開発研究所)

「サーチャー、その重要性と育成における問題について」

サーチャーの喜びも悩みも知っている化学情報界のインフォプロ

岡 紀子氏((株)住化技術情報センター 情報技術グループ)

「外国雑誌・書庫管理・専門職」

日本の情報発信に物申す医学図書館界のご意見番

殿崎 正明氏(日本医科大学 中央図書館)

「知的財産活動におけるインフォプロの役割とは。」

知財立国を目指す日本! 辛口発言で迫る知財のプロ

馬場 健次氏((株)堀場製作所 知的財産部)

第2日目 11月1日(木)

A会場 **みらいCANホール**

○は会場発表者、敬称略

10:00~12:30 トーク&トーク「明日のインフォプロをめざして」

13:30~14:55 セッションA2 電子ジャーナル2
座長 小野寺夏生(筑波大学)

- 演題A21** 国産電子ジャーナルの著作権とライセンス
- J-STAGEの現状にみる課題と可能性 -
(社)日本化学会
独立行政法人科学技術振興機構
○林 和弘
和田 光俊
- 演題A22** J-STAGEにおける雑誌編集に関する推奨基準
- 国際的水準の電子ジャーナル発行のために -
独立行政法人科学技術振興機構
愛知大学
○和田 光俊
時実 象一
- 演題A23** 2ステップマップによる原子力分野のジャーナルの分析
独立行政法人日本原子力研究開発機構
○国井 克彦、峯尾 幸信
米澤 稔

14:55~15:10 休憩

15:10~16:35 セッションA3 特許情報2
座長 徳野 肇((株)三菱化学テクノロジー)

- 演題A31** 大量特許分類分析結果の可視化
- クラスタの位置及び密度分布を考慮した二次元マッピング手法 -
富士ゼロックス(株)
○武田 隼一、池田 仁
- 演題A32** 構造情報を利用した特許解析
- 物質特許中の重要実施例を推定する計算化学的手法 -
ファイザー(株)
○若林 宏明、服部 一成
玉木 健太
- 演題A33** 特許業務の効率化における STN Viewer の有効性
- STNの特許管理・評価ツール -
(社)化学情報協会
○田中 友子、宮崎佐智子

10:00

↓

12:30

トーク&トーク 「明日のインフォプロをめざして」 (A会場)

13:30~14:55 セッションB2 データベース
座長 山崎 久道 (中央大学)**演題B21** JST文献データベースを活用した解析可視化手法の適用
独立行政法人科学技術振興機構 ○小林 義英、植松 利晃
西田 正**演題B22** 原子力関連会議口頭発表情報索引データベース (NSIJ-OP) の現状と課題
独立行政法人日本原子力研究開発機構 ○大島 健志、長屋 俊
米澤 稔**演題B23** データベースによる大学発特許の分析
- 大学からの特許出願・特許取得状況 -
大阪工業大学大学院 ○高崎 秀美、西脇美奈子
都築 泉**14:55~15:10 休憩****15:10~16:35 セッションB3 医学・薬学情報**
座長 佐藤 淑子 (東京女子医科大学図書館)**演題B31** 『医学用語シソーラス』の構築と索引作業システムにおける運用の実際
特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会 ○浜田 雅美、佐久間せつ子
三沢 一成**演題B32** ICD10における合併症のコード化への考察
- 代謝循環器系外来患者の合併症の診断から -
国際医療福祉大学大学院博士課程 関 美奈子**演題B33** 薬学生のための情報検索教育
- 武蔵野大学薬学部における実践報告 -
武蔵野大学 非常勤講師 鈴木 尚志

10:00

↓

12:30

トーク&トーク 「明日のインフォプロをめざして」 (A会場)

13:30~14:25	セッションC2	物質・材料情報
		座長	木村美実子 (科学技術振興機構)

演題C21 インターネット版材料特性ファクトデータベース構築とその背景

- XMLによるデータベース記述 -

独立行政法人物質・材料研究機構

豊田工業大学

立命館大学

○芳須 弘、原田 幸明

藤田 充苗

上野 明

酒井 達雄

演題C22 化学物質リンクセンタープロトタイプ版

独立行政法人科学技術振興機構

東京大学

神奈川県環境科学センター

国立医薬品食品衛生研究所

独立行政法人産業技術総合研究所

独立行政法人物質・材料研究機構

○富川 弓子、國岡 崇生

中村 徹

船津 公人

岡 敬一

鎌田 栄一

齋藤 剛

山崎 政義

14:25~15:10 休憩

15:10~16:35	セッションC3	情報検索・情報サービス
		座長	山本 昭 (愛知大学)

演題C31 英文用例検索システム ESCORT

- 論文データベースを用いた図書館サービス -

名古屋大学情報連携基盤センター

名古屋大学大学院情報科学研究科

名古屋大学大学院国際開発研究科

○松原 茂樹

江川 誠二

加藤 芳秀

演題C32 ポータルデザインとサービス認知に関する一考察

筑波大学大学院

宇陀 則彦

演題C33 情報大航海プロジェクトと「すこやかライフサポート」サービス

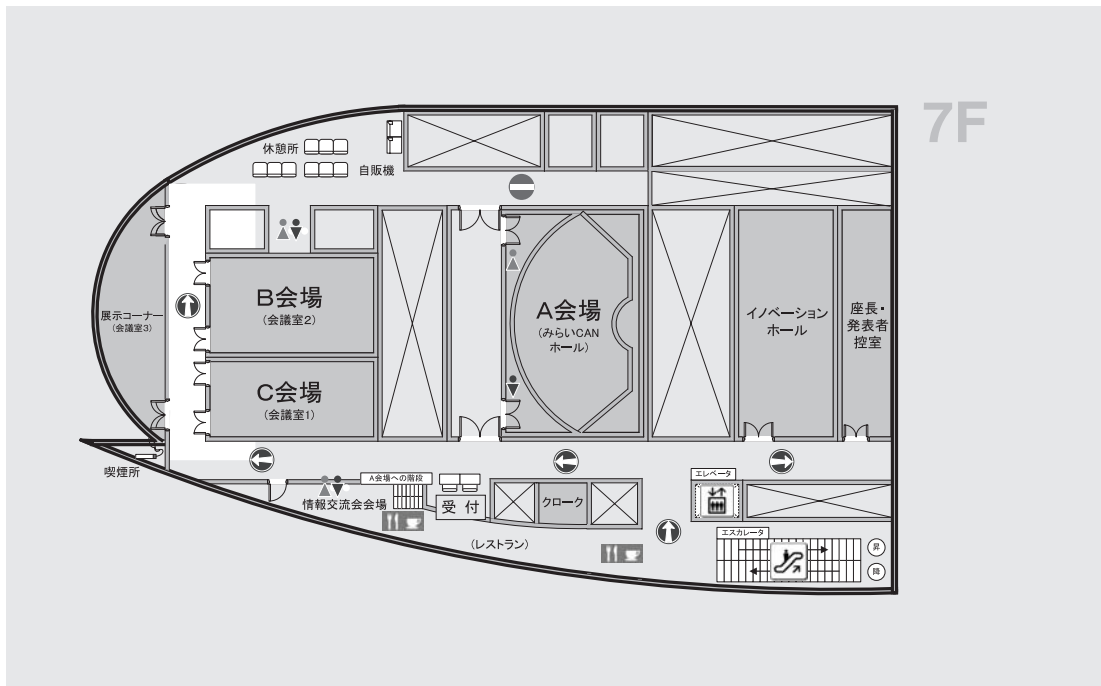
- 経済産業省の情報大航海プロジェクトとサービスの概要 -

(財)国際医学情報センター

○大淵 直子、鈴木 博道

会場案内図

日本科学未来館 7階 (1階エレベーターをお使いください)



A会場 (みらいCANホール)

- ・特別講演
- ・研究・事例発表

B会場 (会議室2)

- ・研究・事例発表

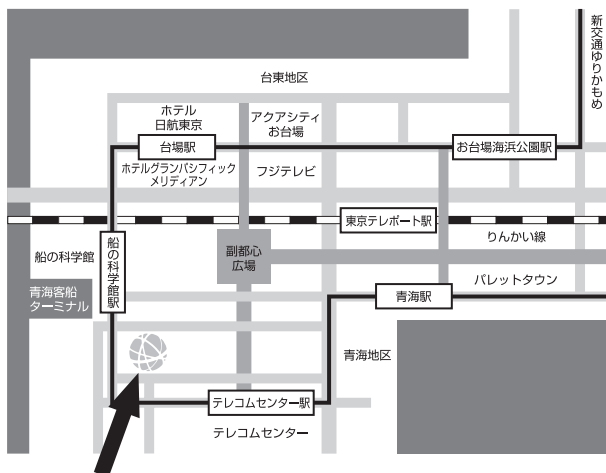
C会場 (会議室1)

- ・研究・事例発表

展示コーナー (会議室3)

会場へのアクセス

東京都江東区青海2丁目41番3



電車 ■ 新交通ゆりかもめ (新橋駅～豊洲駅)

- 「船の科学館駅」下車、徒歩約5分
- 「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分

■ 東京臨海高速鉄道りんかい線 (新木場駅～大崎駅)

- 「東京テレポート駅」下車、徒歩15分

都バス ■ JR浜松町駅より

- 虹01 (浜松町駅～国際展示場前駅) 「日本科学未来館前」下車

■ 東京メトロ東西線門前仲町駅より

- 海01 (門前仲町～東京テレポート駅前) 「日本科学未来館前」下車

京急バス ■ JR大井町駅より

- 井30 (大井町駅～船の科学館前) 「船の科学館前駅」下車

■ JR大森駅より

- 森30 (大森駅～大森海岸線～船の科学館前) 「テレコムセンター駅前」下車

- 森40 (大森駅～平和島駅～船の科学館前) 「テレコムセンター駅前」下車

船 ■ 水上バス

- (日の出桟橋～船の科学館) 約25分 「船の科学館」下船
- (しながわ水族館～大井海浜公園～船の科学館) 約25分 「船の科学館」下船

車 ■ 横浜・川崎・大井・品川方面

- 首都高速湾岸線 東京湾トンネル通過後、13号地ランプより1.2Km

■ 箱崎(都心)・小管・千梨方面

- 首都高速湾岸線 有明ランプより直進3Km

■ 竹芝・芝浦方面

- 首都高速11号線 台場ランプより約2Km

- 臨港道路(レインボーブリッジ下層)を通り、台場出口より約1.8Km

□参加費（予稿集代、2日間共通）

シンポジウム聴講：一般：6,300円 学生：4,200円（消費税込み）

情報交流会：4,200円（消費税込み）

□参加申し込み方法

参加申込受付フォーム (<http://www.dicalpha.net/infopro/>) もしくは別紙の「参加申込用紙」でお申し込みください。

併設催事（予定）

場所：展示コーナー（7F）

- ・ JST 情報提供サービスの紹介
 - ・ JDreamII などの紹介
 - ・ 情報管理Web、SISTなどの紹介
- ・ INFOSTA 研究会紹介
 - ・ 日本オンライン情報検索ユーザー会 Online User Group (OUG) の活動紹介
 - ・ 専門部会 Special Interest Groups (SIG) の活動紹介

独立行政法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency (JST)

〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3
研究基盤情報部 科学技術普及課
TEL : 03-5214-8406 FAX: 03-5214-8420

社団法人
情報科学技術協会
Information Science and Technology Association
(INFOSTA)

〒112-0002 東京都文京区小石川2-5-7
佐佐木ビル
TEL : 03-3813-3791 FAX : 03-3813-3793
E-mail : sympo@infosta.or.jp

*お申込みに関するお問い合わせは、以下へお願いいたします。
INFOPRO受付担当 TEL : 03-5391-2174 FAX : 03-5391-2232

参加申込は、
以下の参加申込受付フォーム
<http://www.dicalpha.net/infopro/>

プログラムは、
以下のINFOSTAホームページ
<http://www.infosta.or.jp/symposium/infopro2007program.html>